

# 令和2年度とよかわデジモニ第2回アンケート結果 「多文化共生に関するアンケート」

## 概要

### ■目的

市では、令和元年度に「第3次豊川市多文化共生推進プラン（2020－2024）」を策定し、プランに基づき多文化共生施策を実施しています。

今回、市政モニターの皆さんに「多文化共生に関するアンケート」を行い、多文化共生施策の実施に向けて参考とするものです。

### ■アンケート対象者

令和2年度とよかわデジモニ モニター100人

### ■回答期間

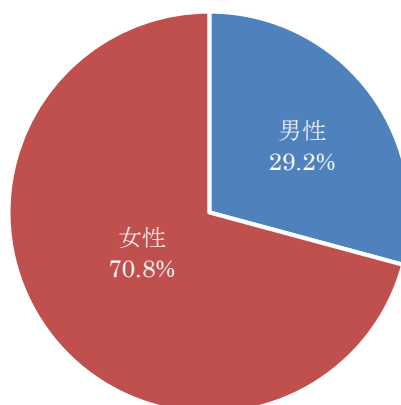
令和2年8月11日（火）から8月25日（火）まで

### ■回答者数（回答率）

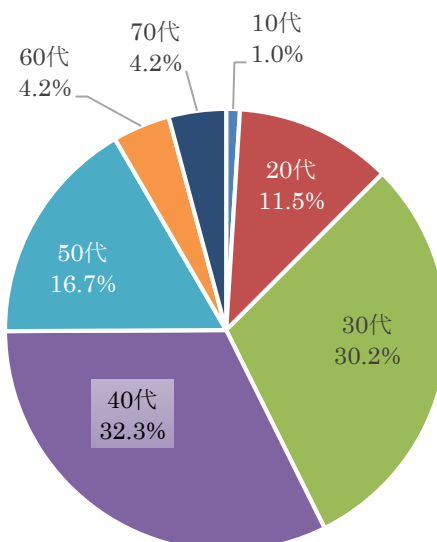
96人（96%）

### ■回答者の内訳

性別	回答数	%
男性	28	29.2
女性	68	70.8
合計	96	



年代	回答数	%
10代	1	1.0
20代	11	11.5
30代	29	30.2
40代	31	32.3
50代	16	16.7
60代	4	4.2
70代	4	4.2
合計	96	



## 担当課の総論

「多文化共生という言葉聞いたことがありますか」（問1）という質問に、「聞いたことがあります、意味も理解していた」と「聞いたことはあったが、意味はあまり理解していなかった」をあわせて【聞いたことがある】と答えた人は66.7%、「聞いたことがない」と答えた人は33.3%で、【聞いたことがある】と答えた人が前回の調査から微減しましたが、「意味も理解している」と答えた人は前回の調査（28.0%）から微増し、31.3%となりました。

外国人市民が多く住んでいることに対しては、44.8%の人が「習慣や文化の違いがあり、不安を感じる」と回答し、不安感を持つ人が前回の調査（43.0%）よりわずかに増えた一方で、「同じ地域で共に生きるパートナーと感じる」、「地域の経済を支える労働力として必要と感じる」と答えた人が前回よりともに10%以上増えています。

さらに、「外国人市民と共に暮らしやすい社会にするため、あなたは外国人市民にどのようなことを期待しますか」（問3）では、「日本語や日本の文化を学んでほしい」が前回の26.9%から44.8%、「外国の言葉や文化を教えてほしい」が33.3%から45.8%、「生活の中で感じたことを提案、発言してほしい」が33.3%から40.6%といずれも前回より増加しており、その他の意見として「困ったことがあれば、何でも提案してほしい」や「交流したい」など、互いの文化や習慣の違いなどを理解し合い、共に暮らしたいという前向きな回答が多くみられました。

また、「どのような取り組みに力を注ぐと、日本人市民と外国人市民が共に暮らしやすい社会になると思いますか」（問5）では、「外国人市民への日本語の学習機会の提供、外国人市民の児童生徒の教育の充実」が前回の22.6%より17%増えたほか、外国人に対する情報提供の充実に関する2項目を選択した人が前回より12~15%増えたことなどから、外国人に対する多言語等での情報提供や、学習・教育の充実が望まれていることがわかりました。

これらの意見を参考に、日本人市民と外国人市民が共に暮らしやすい多文化共生社会づくりを推進するための多文化共生施策を実施していきます。

市民協働国際課

※比率はすべて百分率（%）で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。

## アンケート集計結果

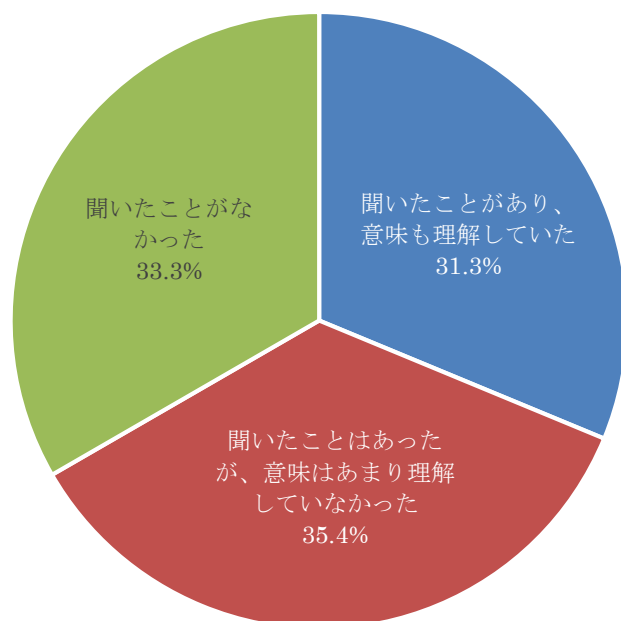
※比率はすべて百分率（％）で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。このため、合計が100にならない場合があります。

※その他・自由意見については、原則ご記入いただいた原文のまま記載をしていますが表記誤りなどについては訂正し、アンケート内容と関係ない意見については掲載しない場合があります。

### 【1】あなたは、多文化共生という言葉を知っていますか

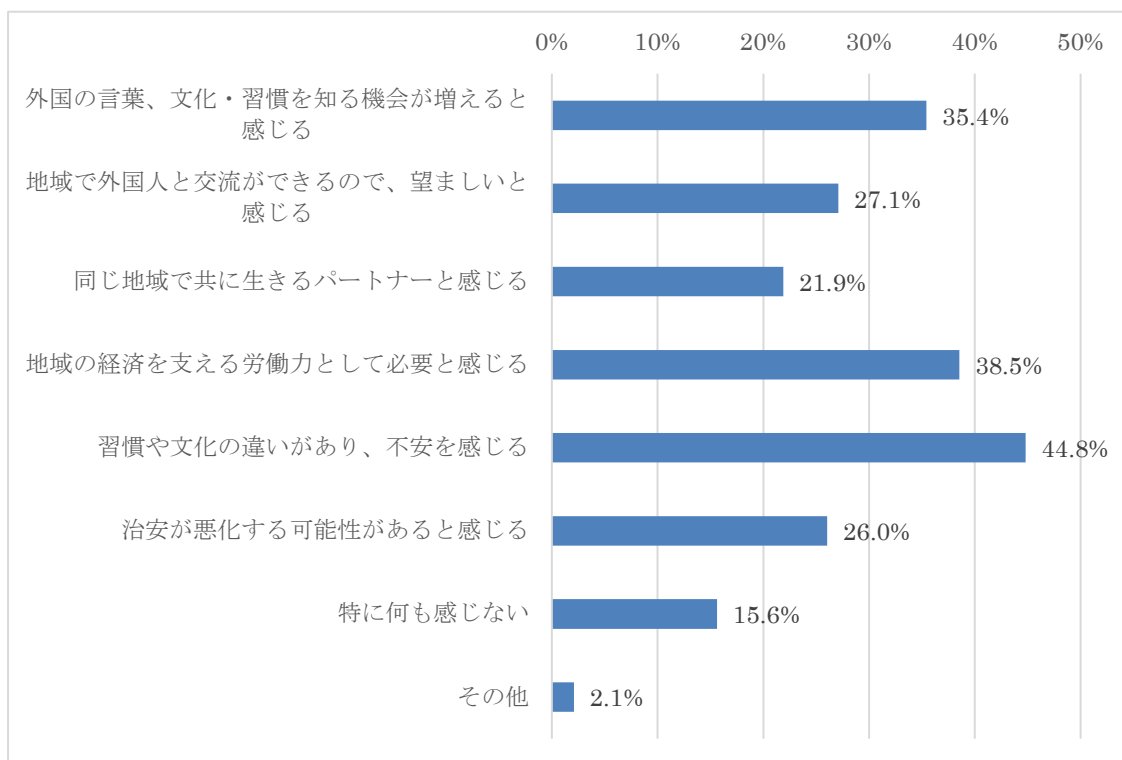
多文化共生とは、「国籍や民族など異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくということ」です（1つ選択）

項目	回答数	%
聞いたことがあり、意味も理解していた	30	31.3
聞いたことはあったが、意味はあまり理解していなかった	34	35.4
聞いたことがなかった	32	33.3
合計	96	



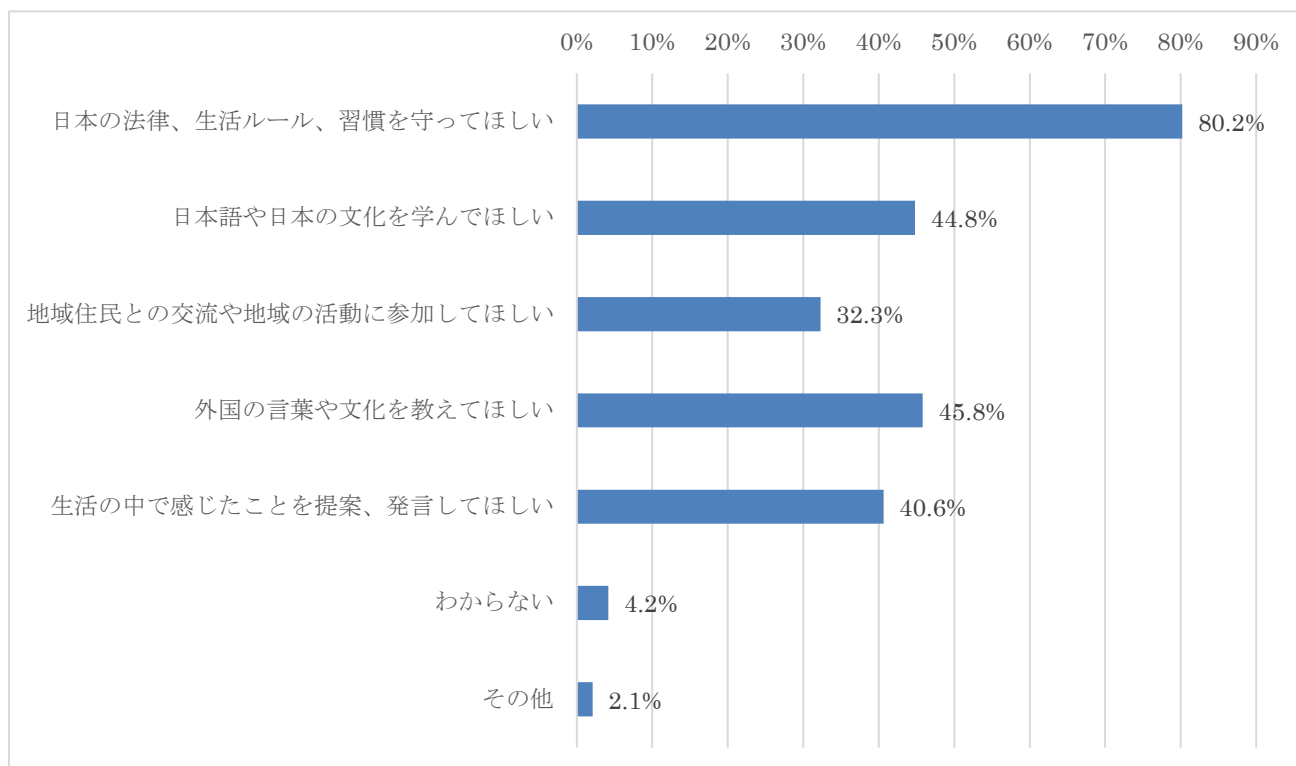
【2】豊川市には多くの外国人市民が住んでいます。あなたは、そのことについてどう思いますか(複数選択可)

項目	回答数	%
外国の言葉、文化・習慣を知る機会が増えると感じる	34	35.4
地域で外国人と交流ができるので、望ましいと感じる	26	27.1
同じ地域で共に生きるパートナーと感じる	21	21.9
地域の経済を支える労働力として必要と感じる	37	38.5
習慣や文化の違いがあり、不安を感じる	43	44.8
治安が悪化する可能性があると感じる	25	26.0
特に何も感じない	15	15.6
その他 ・あまり会わない ・近所のアパートに住んでいるが、町内会に入っていないので、話す機会がない	2	2.1



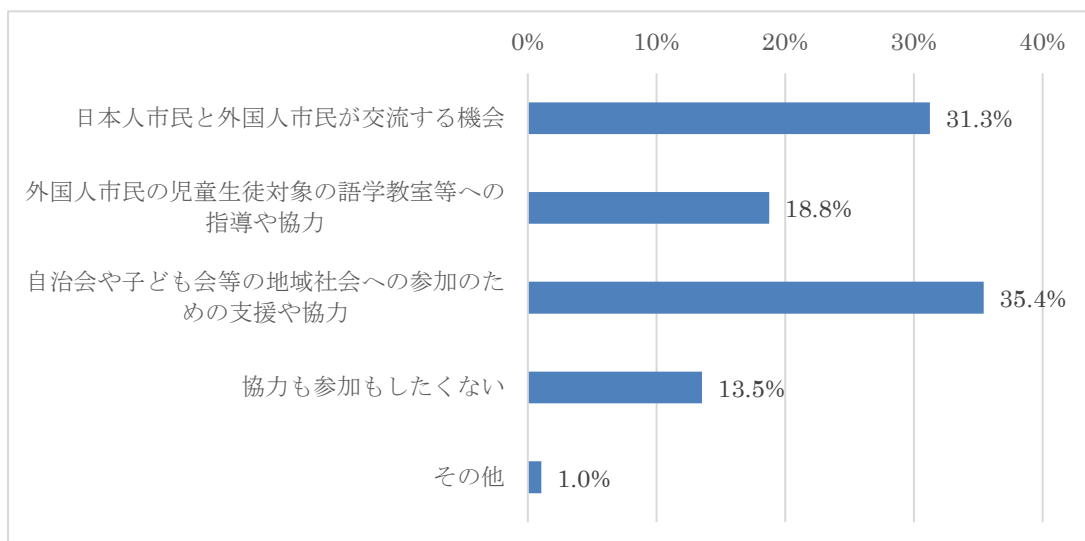
【3】外国人市民と共に暮らしやすい社会にするため、あなたは外国人市民にどのようなことを期待しますか  
 (複数回答可)

項目	回答数	%
日本の法律、生活ルール、習慣を守ってほしい	77	80.2
日本語や日本の文化を学んでほしい	43	44.8
地域住民との交流や地域の活動に参加してほしい	31	32.3
外国の言葉や文化を教えてほしい	44	45.8
生活の中で感じたことを提案、発言してほしい	39	40.6
わからない	4	4.2
その他 ・困った事があれば、何でも提案してほしい ・英語を教えてもらったり、日本を教えたり、交流したい	2	2.1



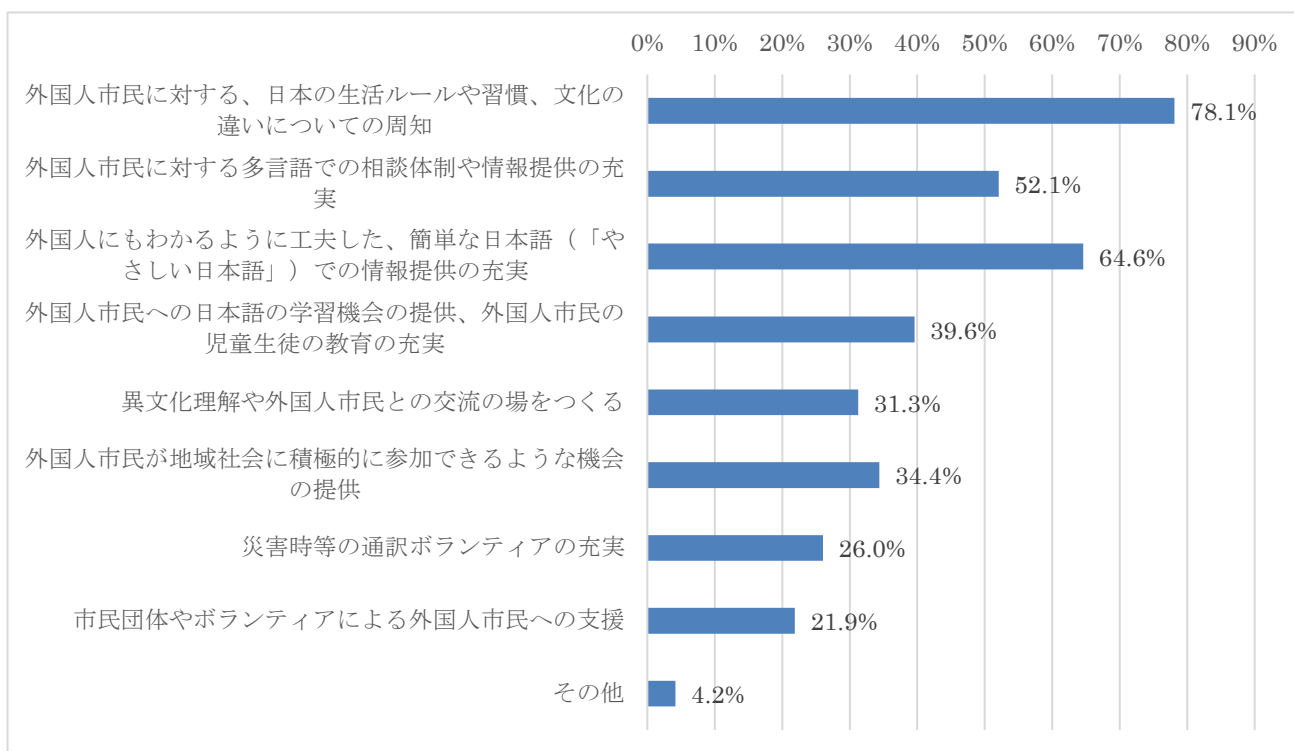
【4】あなたは多文化共生事業について、どのような活動であれば協力・参加したいと思いますか（複数回答可）

項目	回答数	%
日本人市民と外国人市民が交流する機会	30	31.3
外国人市民の児童生徒対象の語学教室等への指導や協力	18	18.8
自治会や子ども会等の地域社会への参加のための支援や協力	34	35.4
協力も参加もしたくない	13	13.5
その他 ・以前語学教室に参加していた	1	1.0



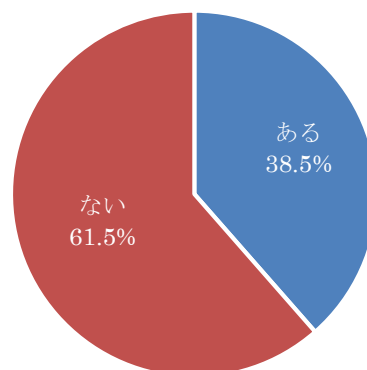
【5】どのような取り組みに力を注ぐと、日本人市民と外国人市民が共に暮らしやすい社会になると思いますか(複数回答可)

項目	回答数	%
外国人市民に対する、日本の生活ルールや習慣、文化の違いについての周知	75	78.1
外国人市民に対する多言語での相談体制や情報提供の充実	50	52.1
外国人にもわかるように工夫した、簡単な日本語(「やさしい日本語」)での情報提供の充実	62	64.6
外国人市民への日本語の学習機会の提供、外国人市民の児童生徒の教育の充実	38	39.6
異文化理解や外国人市民との交流の場をつくる	30	31.3
外国人市民が地域社会に積極的に参加できるような機会の提供	33	34.4
災害時等の通訳ボランティアの充実	25	26.0
市民団体やボランティアによる外国人市民への支援	21	21.9
その他 ・分からない ・翻訳アプリを活用した交流の普及 ・受け入れしている市町村の考え方により上記の回答が変わる ・外国人市民が困った時、すぐに聞ける日本人の存在	4	4.2



【6】日常生活で外国人と接する機会がありますか(1つ選択)

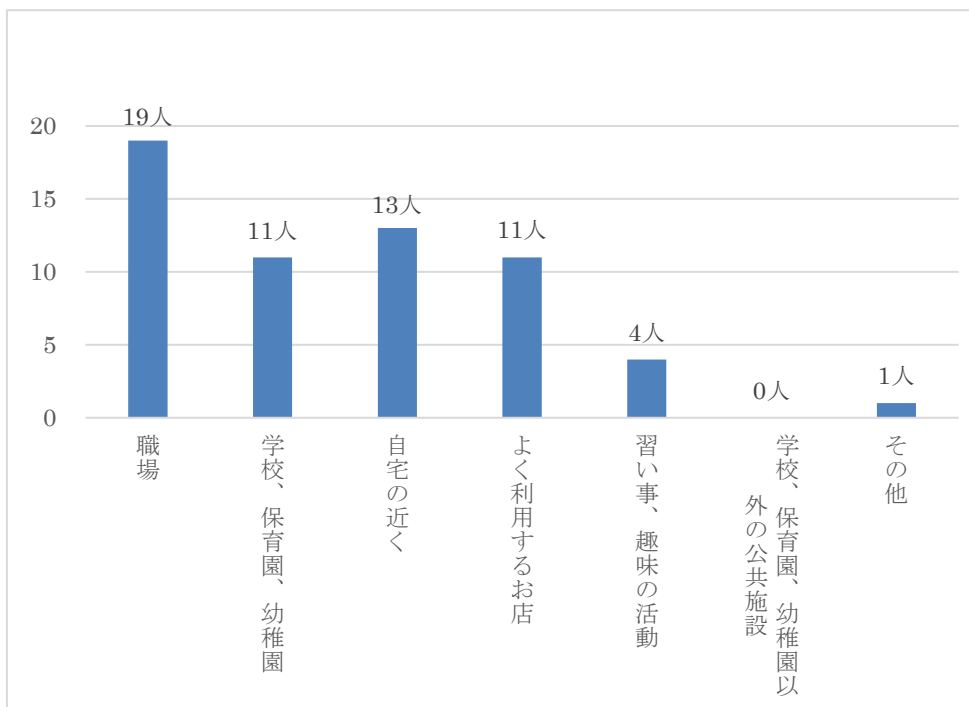
項目	回答数	%
ある	37	38.5
ない	59	61.5
合計	96	



【7】問6で「ある」と回答した方にお聞きます(対象者 37 人)

外国人と接する場所を教えてください(複数回答可)

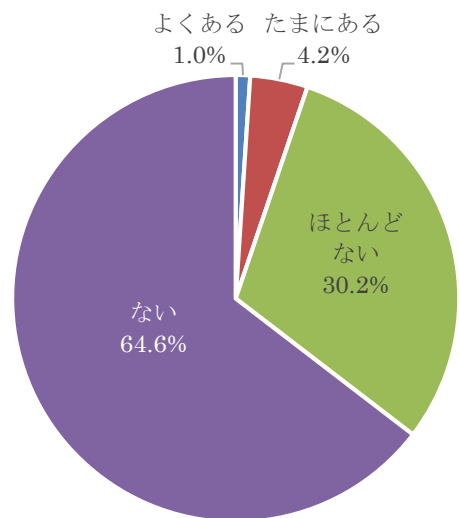
項目	回答数
職場	19
学校、保育園、幼稚園	11
自宅の近く	13
よく利用するお店	11
習い事、趣味の活動	4
学校、保育園、幼稚園以外の公共施設	0
その他 ・友人が多い	1





【8】あなたは、今までに外国人との間でトラブルになったことはありますか(1つ選択)

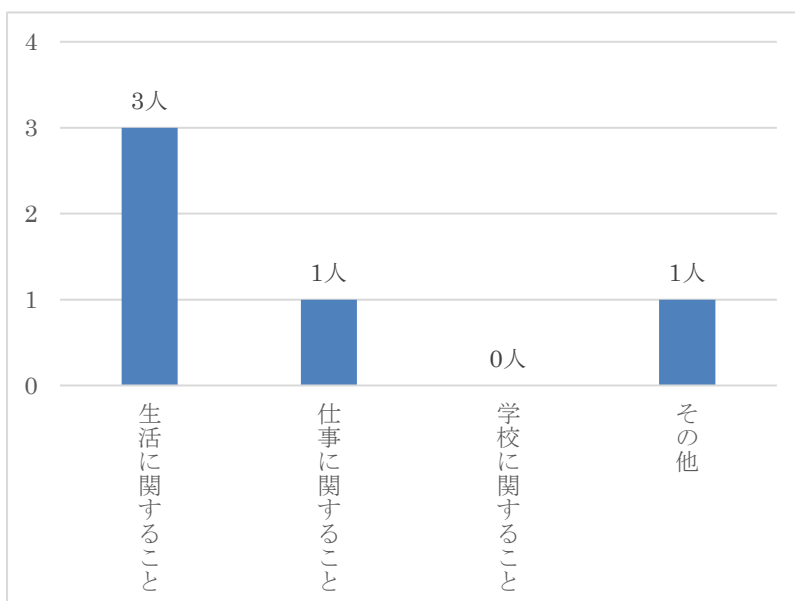
項目	回答数	%
よくある	1	1.0
たまにある	4	4.2
ほとんどない	29	30.2
ない	62	64.6
合計	96	



【9】問8で「よくある」、「たまにある」と回答した方にお聞きします(対象者 5 人)

トラブルの内容は何でしたか(複数回答可)

項目	回答数
生活に関すること	3
仕事に関すること	1
学校に関すること	0
その他 ・誘拐未遂やナンパなど	1



【10】豊川市は、外国人市民にとって住みやすいまちだと思いますか(1つ選択)

項目	回答数	%
そう思う	9	9.4
どちらかといえばそう思う	51	53.1
そう思わない	8	8.3
どちらかといえばそう思わない	4	4.2
わからない	24	25.0
その他	96	

